



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名 株式会社グローバルウェイ 上場取引所 東
 コード番号 3936 URL <https://www.globalway.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長CEO (氏名) 各務 正人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼CISO (氏名) 伊藤 享弘 TEL 03(5441)7193
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	845	35.6	△55	—	△65	—	△19	—
2025年3月期第1四半期	624	2.2	△223	—	△216	—	△156	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △11百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △245百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△0.53	—
2025年3月期第1四半期	△4.31	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,691	1,128	40.3
2025年3月期	1,772	1,175	40.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 681百万円 2025年3月期 716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,750	22.1	142	—	141	—	54	—	1.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社（社名）、除外 1社（社名） TimeTicket GmbH

(注) 詳細は、添付資料7ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	36,431,650株	2025年3月期	36,431,650株
2026年3月期1Q	4,261株	2025年3月期	4,261株
2026年3月期1Q	36,427,389株	2025年3月期1Q	36,414,862株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法)

決算説明資料は2025年8月14日(木)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

わが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、インバウンド需要の増加や各種政策の効果があり、景気は緩やかな回復基調が続くことが期待されますが、一方、エネルギー価格や原材料価格の高止まり、円安の長期化による物価上昇の継続が消費マインドの下振れなどを通じて個人消費は節約志向が強まるなど、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。

また、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れがわが国経済を下押しするリスクとなっており、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

このような環境のもと、当社は「“人”と“技術”を新しい時代のために」を経営理念とし、「人々や企業から最も信頼される存在を目指して」をビジョンとして、人々の幸せや企業の成長をあらゆる技術の追求により最大限実現し、新しい時代において、最も信頼される存在を目指しております。

デジタル・ソリューション事業では、クライアントの積極的なシステム投資やDX化を支援すると同時に、エンジニアの採用や育成によるケイパビリティ拡大に取り組み、キャリアイノベーション事業では、送客数の増加や送客先の新規開拓、人材紹介会社などに対する支援の拡大に取り組み、シェアリング事業を行う株式会社タイムチケットは、個人が個人に対してスキルを販売するマッチングプラットフォームを展開するスキルシェア事業、経営課題の解決を支援するコンサルティング事業、TikTok代理店活動などを行うライブエンターテイメント事業を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は845,963千円（前年同四半期比35.6%増）、営業損失は55,145千円（前年同四半期は営業損失223,389千円）、経常損失は65,061千円（前年同四半期は経常損失216,761千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は19,355千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失156,976千円）となりました。

なお、当社グループは、これまで組織と事業セグメントが同一として区分してきましたが、プラットフォーム事業と「セールスフォース事業」、および「メディア事業」と「リクルーティング事業」について、それぞれの領域をより複合的かつ連携的にサービス提供していくことが必要であると判断いたしました。

これにより、経営スピードの向上や、成長する新たなビジネスへのリソースの集中的な投下・投資実現することが、当社グループのさらなる成長に不可欠であると認識しております。また、投資家の皆様当社グループの事業全体への理解を一層深めていただくため、現行の「プラットフォーム事業」「セールスフォース事業」「メディア事業」「リクルーティング事業」の構成について、再編および呼称の変更を行いました。

その結果、従来は5区分としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「デジタル・ソリューション事業」「キャリアイノベーション事業」「シェアリング事業」の3区分に変更いたしました。

前年同期比については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えて算出しています。

当社グループのセグメントの経営成績は次のとおりであります。

① デジタル・ソリューション事業

デジタル・ソリューション事業では、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進を支援するため、基幹業務システムを活かしつつ最適なクラウドソリューションを組み合わせたデジタルプラットフォームの構築や、SalesforceやHubspotなどのクラウドソリューションやAIソリューションの導入支援を通じて、クライアントの業務改革を総合的にサポートしております。加えてITコンサルティングサービスを提供することで、DX戦略やAI活用戦略の立案やDXプロジェクトのプロジェクト管理支援（PMO）を提供してまいります。DX戦略、要件定義といった上流領域から運用・定着化支援まで一貫して提供しています

また、これらのサービス提供力の強化に向けて、コンサルタント・エンジニアの採用・育成にも注力し、技術的ケイパビリティの拡大を継続しております。

サービスの特長として、「システムや業務の全体設計」や「クラウド基盤やSalesforceの導入支援」を通じて、「開発・運用・定着まで一貫サポートを実施しております。

当第1四半期連結累計期間においては、プロジェクト管理が堅調に推移したことやソリューション拡大による営業活動の拡大や人材採用が進んだことが功を奏し、順調に推移しました。

以上の結果、デジタル・ソリューション事業の売上高は335,197千円（前年同四半期比1.0%減）、セグメント利益は32,544千円（前年同四半期はセグメント損失31,413千円）となりました。

② キャリアイノベーション事業

働く人々のキャリア形成を支援する総合的な人材サービスを提供しています。企業の年収・評判・面接体験などの口コミ情報や求人情報を掲載する情報プラットフォーム「キャリアコネ」などのメディアサービスを展開する一方で、外資系・IT・コンサルティング業界を中心に、ハイクラス人材を対象とした有料職業紹介サービスを提供していま

す。これにより、求職者にとっては信頼性の高い企業情報の取得から最適な転職機会の獲得まで、企業にとっては優秀な人材への効果的なアプローチまでを、一気通貫で支援するキャリア支援事業を推進しています。

当第1四半期連結累計期間においては、外資系IT企業・コンサルティング企業をはじめとしたハイクラス人材紹介で売上げが堅調に推移しました。また、前期から引き続き「キャリアコネ」にかかるSEO対策を実施し、売上の回復傾向の兆しが見えてきました。また、情報プラットフォーム「キャリアコネ」を通じて継続的に、送客数の増加や送客先の新規開拓、人材紹介会社などに対する支援の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、キャリアイノベーション事業の売上高は148,038千円（前年同四半期比12.8%減）、セグメント利益は35,841千円（前年同四半期比173.9%増）となりました。

③ シェアリング事業

当社のグループ会社の株式会社タイムチケットが、個人の時間を売買できるサービスである「TimeTicket(タイムチケット)」、法人と個人間で個人の時間を販売できるサービスである「TimeTicket Pro(タイムチケットプロ)」を運営しており、TikTok Live代理店、経営課題の解決を行うコンサルティングサービス「CRiPTコンサルティング」を展開しております。

当第1四半期連結累計期間においては、「TikTok Live代理店」におけるTikTokライバーの獲得が目標値を大きく超過し、また、「CRiPTコンサルティング」における案件の受注獲得も順調に推移しました。

以上の結果、シェアリング事業の売上高は373,800千円（前年同四半期比192.4%増）、セグメント損失は23,733千円（前年同四半期はセグメント損失84,421千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計は、前連結会計年度末に比べ80,827千円減少し、1,691,679千円となりました。これは主に現金及び預金の増加が115,590千円あった一方、売掛金及び契約資産の減少が193,681千円あったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ33,473千円減少し、563,142千円となりました。これは主に買掛金の増加が65,447千円、未払消費税等の増加が19,488千円あった一方、短期借入金の減少が115,000千円あったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ47,353千円減少し、1,128,537千円となりました。これは主に為替換算調整勘定の増加が14,671千円あった一方、利益剰余金の減少が49,803千円、非支配株主持分の減少が12,852千円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期における連結業績予想は、2025年5月20日に「2025年3月期 決算短信」で公表した業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	559,007	674,598
売掛金及び契約資産	788,832	595,151
仕掛品	1,862	15,100
前払費用	62,789	71,625
その他	203,859	53,512
貸倒引当金	△15,075	-
流動資産合計	1,601,276	1,409,987
固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	119,968	224,146
関係会社株式	188	969
長期前払費用	1,438	1,164
その他	49,634	55,412
投資その他の資産合計	171,230	281,692
固定資産合計	171,230	281,692
資産合計	1,772,506	1,691,679

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	118,749	184,196
短期借入金	235,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	6,640	3,304
未払費用	63,564	55,447
未払法人税等	2,278	442
未払消費税等	2,805	21,897
前受金	19,627	30,972
賞与引当金	11,852	674
受注損失引当金	9,941	591
その他	126,155	145,615
流動負債合計	596,615	563,142
負債合計	596,615	563,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,650	51,688
資本剰余金	1,496,659	1,492,496
利益剰余金	△836,697	△886,501
自己株式	△525	△525
株主資本合計	710,086	657,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,892	△2,135
為替換算調整勘定	12,122	26,793
その他の包括利益累計額合計	6,230	24,658
新株予約権	568	568
非支配株主持分	459,005	446,153
純資産合計	1,175,891	1,128,537
負債純資産合計	1,772,506	1,691,679

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	624,048	845,963
売上原価	370,202	381,195
売上総利益	253,846	464,767
販売費及び一般管理費	477,235	519,913
営業損失(△)	△223,389	△55,145
営業外収益		
受取利息	1	15
受取配当金	448	3,376
投資有価証券売却益	10,789	-
暗号資産評価益	-	19
持分法による投資利益	-	693
補助金収入	-	6,518
その他	21	6
営業外収益合計	11,260	10,630
営業外費用		
支払利息	113	977
為替差損	4,446	5,574
暗号資産評価損	2	-
投資有価証券売却損	-	13,734
持分法による投資損失	69	-
雑損失	-	259
営業外費用合計	4,631	20,546
経常損失(△)	△216,761	△65,061
特別利益		
子会社清算益	-	49,059
特別利益合計	-	49,059
特別損失		
減損損失	-	279
特別損失合計	-	279
税金等調整前四半期純損失(△)	△216,761	△16,281
法人税、住民税及び事業税	564	442
法人税等合計	564	442
四半期純損失(△)	△217,325	△16,723
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△156,976	△19,355
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,349	2,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,405	12,964
為替換算調整勘定	4,132	△7,733
持分法適用会社に対する持分相当額	69	86
その他の包括利益合計	△28,203	5,317
四半期包括利益	△245,529	△11,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△164,874	△927
非支配株主に係る四半期包括利益	△80,654	△10,479

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

当第1四半期連結会計期間において当社の連結子会社であったTimeTicket GmbHは、2025年6月2日付で清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	-千円	282千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額 (注) 2
	デジタル・ソ リューション 事業	キャリアイノ ベーション事 業	シェアリング 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	338,165	166,451	119,431	624,048	-	624,048
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	338,165	166,451	119,431	624,048	-	624,048
セグメント間の内部 売上高又は振替高	572	3,327	8,419	12,318	△12,318	-
計	338,737	169,779	127,850	636,367	△12,318	624,048
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△31,413	13,087	△84,421	△102,747	△120,642	△223,389

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△120,642千円のうち△108,324千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額 (注) 2
	デジタル・ソ リューション 事業	キャリアイノ ベーション事 業	シェアリング 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	335,179	144,637	366,146	845,963	-	845,963
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	335,179	144,637	366,146	845,963	-	845,963
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	3,401	7,654	11,073	△11,073	-
計	335,197	148,038	373,800	857,036	△11,073	845,963
セグメント利益又は セグメント損失(△)	32,544	35,841	△23,733	44,653	△99,798	△55,145

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△99,798千円のうち△88,725千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、これまで組織と事業セグメントが同一として区分してきましたが、プラットフォーム事業」と「セールスフォース事業」、および「メディア事業」と「リクルーティング事業」について、それぞれの領域をより複合的かつ連携的にサービス提供していくことが必要であると判断いたしました。

これにより、経営スピードの向上や、成長する新たなビジネスへのリソースの集中的な投下・投資実現することが、当社グループのさらなる成長に不可欠であると認識しております。また、投資家の皆様に当社グループの事業全体への理解を一層深めていただくため、現行の「プラットフォーム事業」「セールスフォース事業」「メディア事業」「リクルーティング事業」の構成について、再編および呼称の変更を行いました。

その結果、従来は5区分としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「デジタル・ソリューション事業」「キャリアイノベーション事業」「シェアリング事業」の3区分に変更いたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「デジタル・ソリューション事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において279千円であります。